



住江織物株式会社

# 2013年5月期 決算概況



- 1 表紙
- 2 目次
- 3 2013年5月期(2012/6～2013/5) 連結業績
- 5 2013年5月期 売上高と営業利益の状況
- 6 連結業績の事業セグメント別内訳
- 7 インテリア事業
- 8 自動車・車両内装事業
- 10 機能資材事業
- 11 連結B/S 連結C/F
- 12 2014年5月期連結計画
- 13 連結業績の推移
- 14 2014年5月期 連結セグメント別計画
- 15 株主配当について
- 16 中期3ヵ年経営計画“Global Evolution 2015”
- 20 「ECOS」の広告が「最優秀建設広告賞」を受賞

## ●Profit and Loss Statement

(単位:百万円)

	当期	前期	前期比		期初計画	期初計画比	
			(%)	(増減額)		(%)	(増減額)
売上高	81,898	75,324	8.7%	6,574	81,000	1.1%	898
営業利益	2,057	1,031	99.5%	1,026	2,000	2.9%	57
営業利益率	2.5%	1.4%			2.5%		
経常利益	2,426	1,265	91.7%	1,161	2,350	3.2%	76
経常利益率	3.0%	1.7%			2.9%		
当期純利益	820	626	31.0%	194	1,500	△45.3%	△680
当期純利益率	1%	0.8%			1.9%		

連結売上高は**818**億98百万円

(前期比65億74百万円増、期初計画比8億98百万円増)

連結営業利益は**20**億57百万円

(前期比10億26百万円増、期初計画比57百万円増)

## ■連結売上高

当連結会計年度におけるわが国経済は、政権交代以降、政府主導の経済政策を背景に円安の進行と株価の上昇が起こり、景気回復へ向けた明るさが見えてきた。

インテリアではECOSを中心として業務用カーペットが好調に推移し、自動車内装では米国やタイでの売上高増となったことから、当期における連結売上高は前期比65億74百万円(8.7%増)の818億98百万円となった。

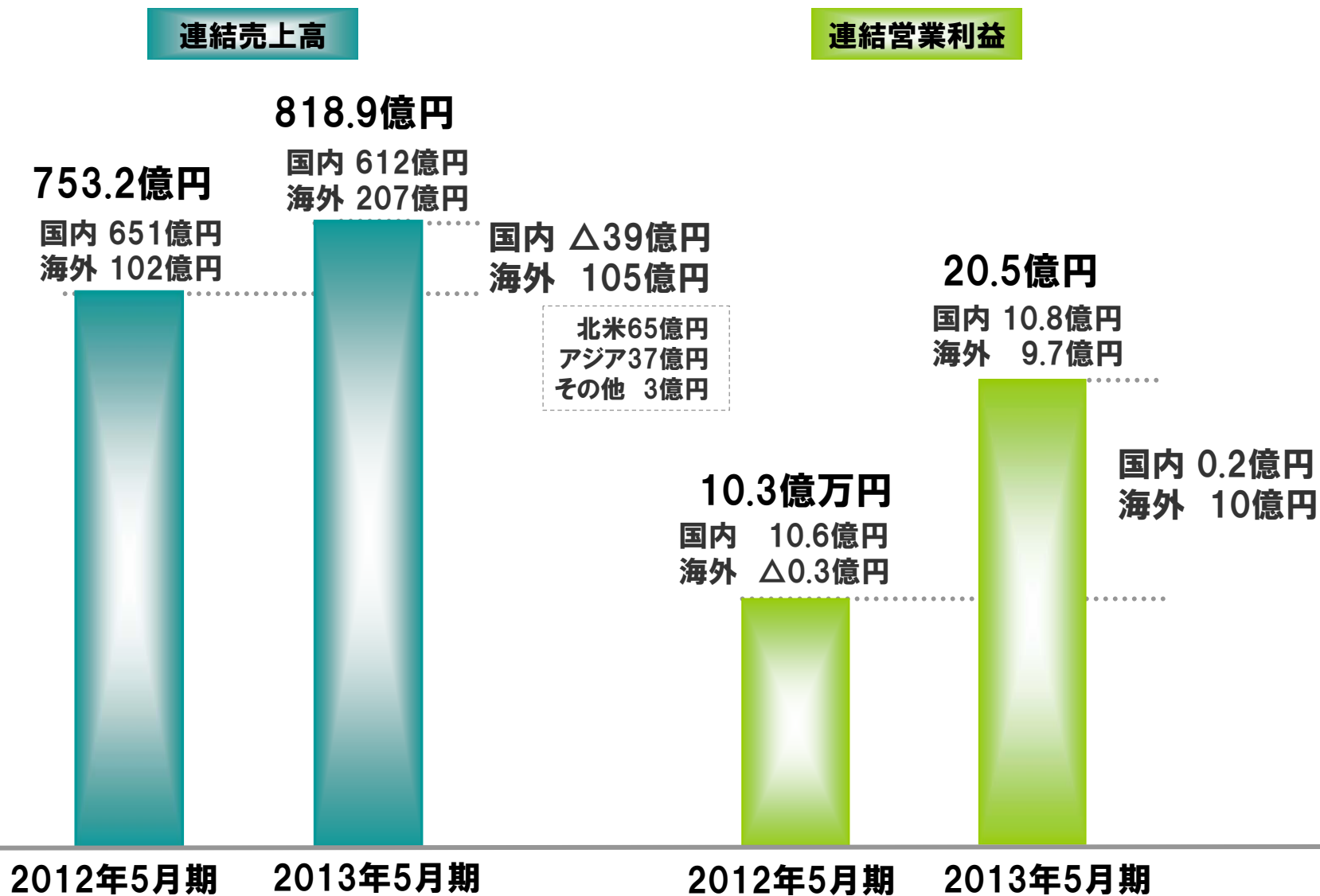
## ■連結経常利益

持分法による投資損失が26百万円あったが、営業利益が前期比で大幅に伸びたため、経常利益は前期比11億61百万円(91.7%増)の24億26百万円となった。

## ■連結当期純利益

大阪事業所の土地および建物の減損や、物流センターの移転等の事業改善費用を特別損失に11億2百万円計上したため、当期純利益は前期比1億94百万円増の8億20百万円となった。

# 2013年5月期 売上高と営業利益の状況



# 連結業績の事業セグメント別内訳 (単位:百万円)

## ●Segment Information

連結売上高	当期	前期	前期比(%)	前期比(額)	期初計画	期初計画比(%)	期初計画比(額)	
	インテリア	33,727	33,746	△0.1%	△19	34,600	△2.5%	△872
	自動車・車両内装	43,938	37,558	17.0%	6,379	42,200	4.1%	1,738
	機能資材	4,129	3,910	5.6%	218	4,100	0.7%	29
	その他	103	108	△4.8%	△5	100	3.2%	3
	セグメント合計	81,898	75,324	8.7%	6,574	81,000	1.1%	898

営業利益	当期	前期	前期比(%)	前期比(額)	期初計画	期初計画比(%)	期初計画比(額)	
	インテリア	585	297	96.6%	287	410	42.7%	175
	自動車・車両内装	2,659	1,802	47.6%	857	2,700	△1.5%	△40
	機能資材	77	75	2.2%	1	100	△22.7%	△22
	その他	32	35	△6.5%	△2	40	△17.9%	△7
	調整額	△1,297	△1,179	-	△117	△1,250	-	△47
セグメント合計	2,057	1,031	99.5%	1,025	2,000	2.9%	57	

## カーペットを中心にカーテン、壁紙等を販売

	2013年5月期実績	2012年5月期実績	増減	増減率
連結売上高	33,727百万円	33,746百万円	△19百万円	0.1%減
連結営業利益	585百万円	297百万円	287百万円	96.6%増

### オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペット

大型物件の受注等から、売上高は前期を上回った。

特に、2011年7月に発売した循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS（エコス）」は、発売当初の高い評価を継続して、順調に売上高を伸ばした。

### 一般家庭向けカーペット、ラグマット

個人消費の持ち直しの動きが一部で見られたものの、雇用や所得環境は依然として厳しく、売上高は前期を下回った。

### カーテン

主力の「mode S Vol.6」と「U-Life Vol.6」が堅調に推移し、さらに「ディズニーシリーズ」と「デザインライフ」が好調な売れ行きとなった結果、売上高は当期も前期実績を上回った。

### 壁紙類

「ルノンホーム1000」と量産タイプの「マークII」がともに厳しい状況が続いたため、前期を下回った。



東京ステーションホテル  
別注カーペット



グランフロント大阪  
別注ECOSタイルカーペット

## フロアカーペット、シート表皮材、天井表皮材等、自動車内装材をトータルで販売

## 車両内装分野を合わせた連結業績

	2013年5月期実績	2012年5月期実績	増減	増減率
連結売上高	43,938百万円	37,558百万円	6,379百万円	17.0%増
連結営業利益	2,659百万円	1,802百万円	857百万円	47.6%増

## カーペット事業

**国内** 年度前半にエコカー購入補助金の効果があったものの、同補助金終了による需要減と中国向け輸出車の減少により、売上高、営業利益はともに前期を下回った。

**海外** 米国とタイで新規車種の受注と日系自動車メーカーの生産増加を受け、それぞれ売上高、営業利益ともに前期を大きく上回った。



日産 新型ノート  
オプションマット・合成皮革・ファブリック等の内装材納入



マツダ アテンザ  
フロアカーペット・ファブリック等の内装材納入



## 自動車・車両内装事業 車両内装事業

### ファブリック事業

国内 カーペット事業と同様に、エコカー購入補助金終了の影響と中国向け輸出車の減少により売上高は前期を下回ったが、経費の削減等が功を奏し、営業利益は前期を上回った。

海外 中国では9月以降の日本車販売台数減の影響を、年度前半の堅調な自動車販売により補った。米国ならびにタイでは、カーペット事業と同様に、新規車種の受注と日系自動車メーカーの生産増加を受け、中国、米国、タイのいずれも売上高、営業利益ともに前期を上回った。

### 鉄道・バスにシート表皮材やカーペット、リサイクル性に優れたシートクッション材「スミキューブ®」等を販売

#### 鉄道車両向け

年度前半の大手私鉄を中心とした大型リニューアル工事が売上高、利益面ともに牽引した。また年度後半にかけて関東地区のシート張替え工事が回復したため、1年を通して堅調に推移した。

#### バス向け

新車生産台数は前年を下回り、売上高は前期並みとなったものの、グレードの高いオプション仕様車が増加したことから利益面で貢献した。

車両関連全体としては、売上高はほぼ前期並みとなったが、営業利益は前期を大きく上回った。

東海道・山陽新幹線 N700A  
スミキューブ・モケット等の内装材を納入



## ホットカーペット、タイルカーペットOEM販売と 独自消臭加工技術によるフィルター等を展開

	2013年5月期実績	2012年5月期実績	増減	増減率
連結売上高	4,129百万円	3,910百万円	218百万円	5.6%増
連結営業利益	77百万円	75百万円	1百万円	2.2%増

### ホットカーペット

当期も好調を維持し、前期の受注台数を上回った。

### タイルカーペットのOEM販売

国内向けは低迷したが、海外向けは大幅に増加した。

### 消臭関連

空気清浄機向けフィルターと一般家庭向け置き型消臭剤  
「香りでごまかさない 本当の消臭」が好調に推移した。

### その他

遮熱ルーフィング材が伸長した。



Tispaシリーズ 脱臭・消臭剤  
「香りでごまかさない 本当の消臭」

Balance Sheet	当期	前期
<b>総資産</b>	<b>80,090</b>	76,663
現預金	7,403	7,112
売上債権	20,350	20,442
たな卸資産	12,126	11,246
その他の流動資産	3,860	4,526
有・無形固定資産	27,354	26,772
投資その他の資産	8,996	6,563
<b>総負債</b>	<b>47,587</b>	47,614
仕入債務	16,487	16,901
短期借入金	10,526	11,086
その他流動負債	4,548	3,465
長期借入金	4,957	5,347
その他固定負債	11,068	10,813
<b>純資産</b>	<b>32,503</b>	29,049
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	7,923	7,146
自己株式	<b>△355</b>	<b>△330</b>
有価証券評価差額金	1,973	<b>△22</b>
土地再評価差額金	7,532	7,867
その他評価・換算差額	43	<b>△636</b>
少数株主持分	3,180	2,817

【貸借対照表】

**総資産** 売上高増加と円安の影響で米国とタイを中心にたな卸在庫が880百万円増え、また、保有有価証券の評価益の増加により投資その他の資産が2,433百万円増えたこと等から、前期比3,427百万円増の80,090百万円となった。

**純資産** その他有価証券評価差額金の増加等により、前期比3,454百万円増の32,503百万円となった。

【キャッシュ・フロー】

**営業CF** 税金等調整前当期純利益が1,384百万円となり、また、特別損失に計上した事業構造改善費用のうち、1,005百万円が当期にキャッシュアウトを伴わないこと等から、3,837百万円の収入となった。

**財務CF** 有利子負債の圧縮と為替の影響から借入金が1,512百万円減少したこと等により2,048百万円の支出となった。

Statement of Cash Flows	当期	前期
営業活動によるC/F	<b>3,837</b>	670
投資活動によるC/F	<b>△1,676</b>	<b>△1,889</b>
財務活動によるC/F	<b>△2,048</b>	310
換算レート変動の影響	<b>179</b>	<b>△27</b>
期中の増減額	<b>291</b>	<b>△935</b>
期首の現金残高	<b>6,892</b>	7,827
期末の現金残高	<b>7,183</b>	6,892

連結期初計画

売上高 **850** 億円

(2013年5月期 818億98百万円)

営業利益 **24** 億円

( " 20億57百万円)

経常利益 **29** 億円

( " 24億26百万円)

当期純利益 **18** 億円

( " 8億20百万円)

## 半期別推移

Challenge 2012

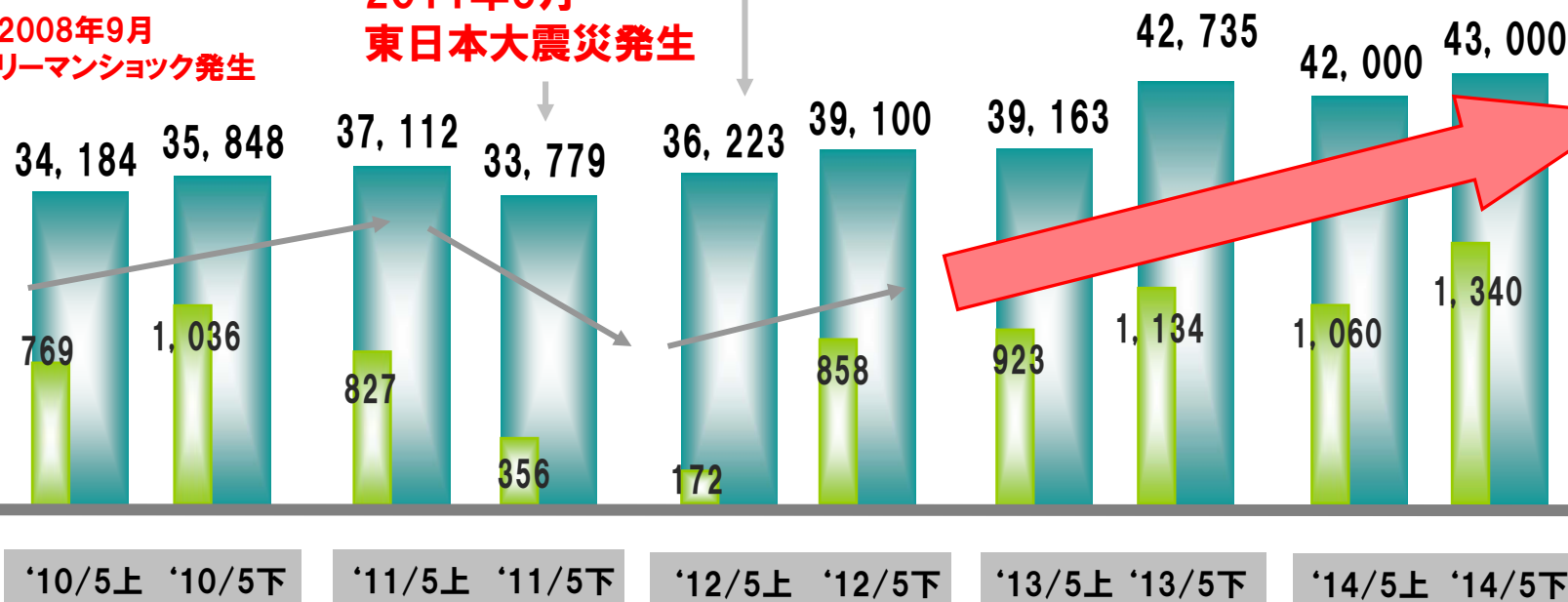
Global Evolution 2015

連結売上高  
連結営業利益

2008年9月  
リーマンショック発生

2011年3月  
東日本大震災発生

2011年10月  
タイ洪水発生



売上高		2014年5月期 計画	前期	前期比(%)	前期比(額)
	インテリア	35,600	33,727	5.6%	1,873
	自動車・車両内装	45,000	43,938	2.4%	1,062
	機能資材	4,300	4,129	4.1%	171
	その他	100	103	△2.9%	△3
セグメント合計	85,000	81,898	3.8%	3,102	

営業利益		2014年5月期 計画	前期	前期比(%)	前期比(額)
	インテリア	700	585	19.7%	115
	自動車・車両内装	2,970	2,659	11.7%	311
	機能資材	90	77	16.9%	13
	その他	30	32	△6.3%	△2
	調整額	△1,390	△1,297	—	△93
セグメント合計	2,400	2,057	16.7%	343	

■2014年5月期計画  
 インテリア事業の回復に加え、自動車内装の海外事業の拡大により、2014年5月期は売上高、営業利益ともに増加を見込んでいる。

## ■2013年5月期および2014年5月期計画について

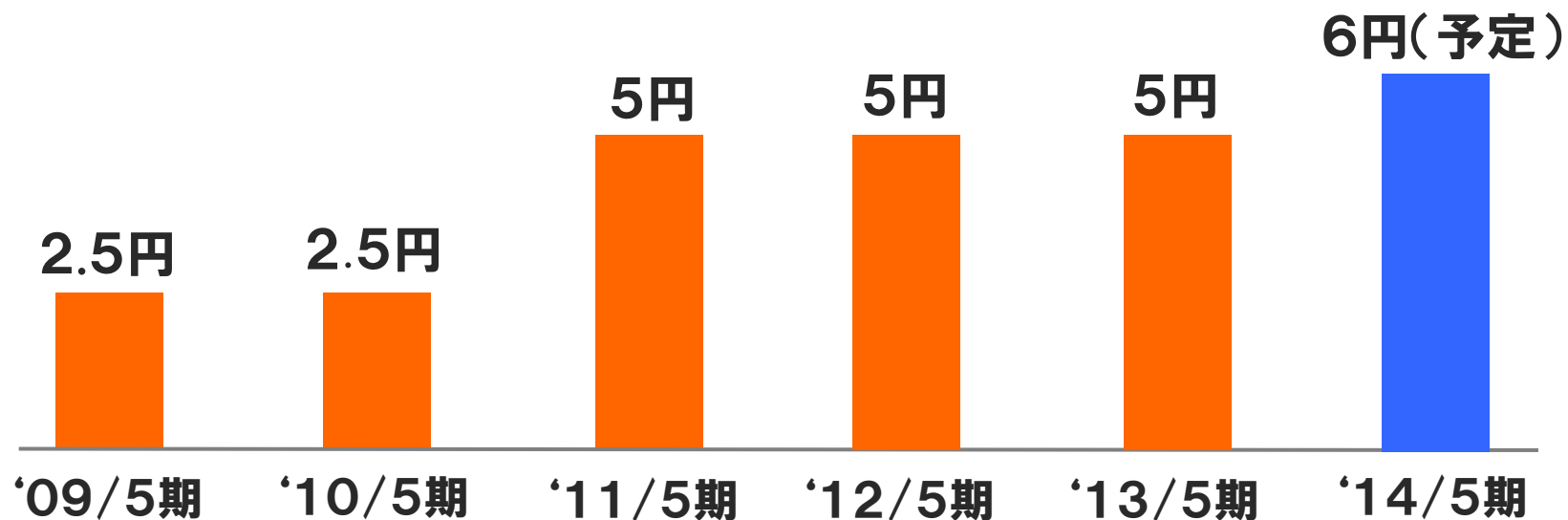
### ・2013年5月期

中間で2円50銭の配当を実施、期末についても2円50銭を予定しております。

### ・2014年5月期

中間は2円50銭、期末は2円50銭に100周年記念配当として1円を加えた3円50銭とし、年間で6円の配当を計画しております。

## ■配当額の推移



2012年6月よりスタートした中期3ヵ年経営計画“Global Evolution 2015”の2年目を迎える。

## 連結数値目標

### 3ヵ年の目標

- 売上高は100億円の増収
- 営業利益率3%以上

### 中長期の目標

- 営業利益率5%以上
- ROA(総資産経常利益率)6%以上

※2015年5月期は、Global Evolution 2015策定時の数値であり、現在最新見通しを策定中です。

		中期3ヵ年経営計画 “Global Evolution 2015”											
		2012年5月期実績				2013年5月期		2014年5月期				2015年5月期	
		策定時計画		実績		策定時計画		最新見通し		策定時計画			
売上高	売上高成長率	75,324	106.3%	81,000	107.5%	81,898	108.7%	83,000	102.5%	85,000	103.8%	85,000	102.4%
営業利益	営業利益率	1,031	1.4%	2,000	2.5%	2,057	2.5%	2,630	3.2%	2,400	2.8%	2,920	3.4%
経常利益		1,265		2,350		2,426		2,980		2,900		3,290	
当期純利益		626		1,500		820		2,000		1,800		2,200	
ROE(自己資本当期純利益率)		2.4%		5.6%		3.0%		7.2%		6.4%		7.6%	
ROA(総資産経常利益率)		1.7%		3.1%		3.1%		3.8%		3.6%		4.2%	



**基本方針**

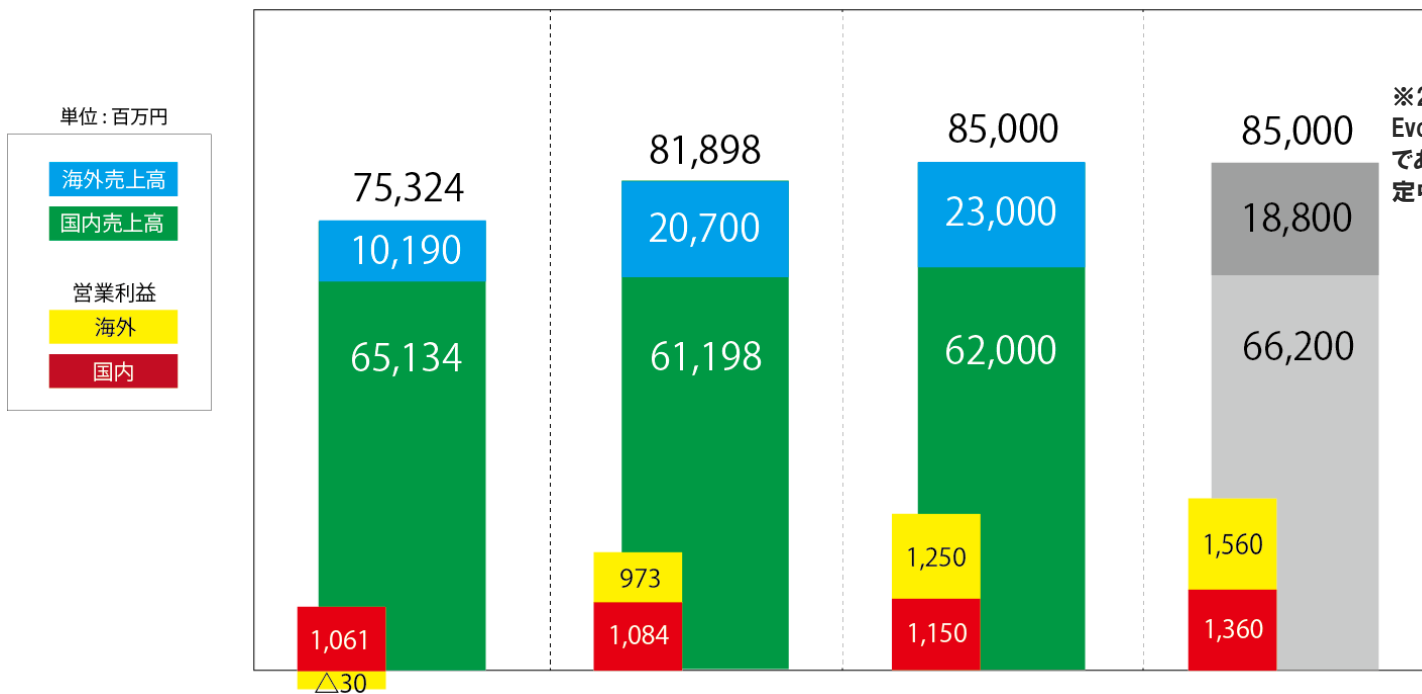
**海外展開を中心としたグローバル戦略**

**循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS」を  
始めとするオンリーワン商品の積極的な展開**

**市場シェアの拡大と利益率の向上を目指す**

## 進捗状況

自動車内装材事業を中心に海外比率を高め、グローバル経営を進めます。  
2014年5月期に海外の営業利益が国内を逆転する見込みです。



※2015年5月期は、Global Evolution 2015策定時の数値であり、現在最新見通しを策定中です。

	2012年5月期実績	2013年5月期実績	2014年5月期計画	2015年5月期計画
売上高	75,324	81,898	85,000	85,000
海外売上高 (地域別内訳)	10,190 北米 5,126    アジア他 5,064	20,700 北米 11,677    アジア他 9,023	23,000 北中米 12,700    アジア他 10,300	18,800 北中米 8,800    アジア他 10,000
海外売上高比率	14%	25%	27%	22%

## グローバルマップ

2013年5月、新たにメキシコへカーマットの製造拠点を設立しました。  
当事業の海外売上高比率は年々高まっており、現在では当事業の売上高の約半分を占めております。  
今後も、積極的に海外事業の拡大に取り組んでまいります。



資源を未来へ。



## 循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS」の広告が「最優秀建設広告賞」を受賞しました。

●日経BP社の第19回(2013年)「日経BP広告賞」に、2,976社約10,000ページの広告の中から、各部門ごとに合計35社が選ばれ、当社は建設部門での最優秀賞を受賞しました。

当社はECOS発売当初より、日経アーキテクチャに広告を掲載し、設計事務所、建築技術者へ向けて訴求を行っております。



贈賞式の様子

国内最高水準の再生材使用比率を達成。高品質リサイクルタイルカーペット。  
**ECOS**  
 新シリーズ誕生  
 ECOS TILE CARPET series  
 ECOS OP-4800

GOOD DESIGN AWARD 2011

人気シリーズの中に、また一新シリーズ誕生。

タイルカーペット「ECOS」  
 再生率 77%  
 トップクラスの再生材比率

また一新シリーズ誕生。

再生率 77%  
 トップクラスの再生材比率

再生率 67%  
 トップクラスの再生材比率

住江織物株式会社  
 〒424-0204 大塚中央町南町1-1-10  
 TEL: 054-852-1111  
 FAX: 054-852-1112  
 URL: http://www.jie.co.jp/

資源を未来へ。  
**ECOS**  
 誕生  
 国内最高水準の再生材使用比率を達成。ECOSは、循環型リサイクルタイルカーペット。

77%  
 トップクラスの再生材比率

カーペットも スマートに。  
 「住江織物株式会社」が、独自の「循環型リサイクルタイルカーペット」を開発し、42%の削減率、再生率77%の再生材比率を実現しました。再生率77%の再生材比率を実現しました。再生率77%の再生材比率を実現しました。

-42%  
 優れたCO<sub>2</sub>削減率

ECOS TILE CARPET series

住江織物株式会社  
 〒424-0204 大塚中央町南町1-1-10  
 TEL: 054-852-1111  
 FAX: 054-852-1112  
 URL: http://www.jie.co.jp/

日経アーキテクチャ掲載広告